

令和8年度 大田区立南蒲小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

令和8年7月24日

【学校規模】児童数:383名(7/1現在) 学級数:15学級 教員数:29名
【目指す学校像】
○児童にとって、安心して自分を表現でき、目標をもつてがんばる過程が認められ、自尊感情および自己肯定感が育まれる学校
○保護者にとって、安心して通わせることができ、子どもたちのために協力したいと思える学校
○地域にとって、親しみ合いを感じる存在で、学校の活動を広く支援したいと思える学校
○教職員にとって、改善に向けた取組の成果や学校組織の一員としての貢献を実感できる学校
【本校の主な特色】
○たてわり組による異学年交流活動(全学年)
○外部講師を招いたキャリア教育(4～6年) 令和8年度キャリア教育モデル校(令和5年度より継続)
○特別活動の要となる学級活動についての校内研究(指導力向上)
○総合的な学習の時間を課題発見、探究できるよう「探究タイム(南蒲探究タイム)」と命名
○朝学習における持来走「なんぼーラン」の取組(全学年) 令和8年度大田区小学生駅伝大会5年連続優勝(5.6年代表児童)
○特別支援教室(サポートルーム)拠点校、特別支援学級(5組)設置校

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
生予個性測別 困目力難 をな1 育未 成来し 社 会 を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 ○成体自然科「おわたの未来づくり」 →1年～6年 「私たちの町を盛り上げよう!」 6年～の探究 「私たちの教室 エゴマの葉」 ○ものづくり ○小中学校理科授業組上研修 →3年以上の理科授業において、担任が授業公開をし、教育委員会から指導を受ける	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 80% 以上		児童アンケートで「タブレットを使って学習や家庭学習をすることができている。」と回答した児童の割合。	A
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。 ○キャリア教育 3年～前授業、后、修習見学 3年～みらいエール、(夢の教室) 5年～情報教室、キャリアデザイン、 6年～情報教室、キャリアデザイン、ものづくり体験 ○移動教室(2泊3日) →1年～児童館、児童館、6年～とよみ移動教室 ○学校行事(主な行事) →100周年記念行事 6/2南蒲フェスティバル(児童が企画した出店) ○中学校進学説明会(主な行事) →小学生新大田、進路指導 →児童が自然を愛め合い、互いのよさを知るための学級活動を中心とした話し合い活動を取り入れる	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3: 70% 以上 80% 未満			
		③情報技術を活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。 ○タブレット端末を活用した授業等による 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 ○情報活用能力の育成 →1年～児童館、児童館、6年～とよみ移動教室 →児童が自然を愛め合い、互いのよさを知るための学級活動を中心とした話し合い活動を取り入れる	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2: 80% 以上 70% 未満			
		④情報モラル教育 →1年～児童館、児童館、6年～とよみ移動教室 →児童が自然を愛め合い、互いのよさを知るための学級活動を中心とした話し合い活動を取り入れる	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 60% 未満			
お世個性測別 困目力難 をな1 育未 成来し 社 会 を 創 造 的 に	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるために、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会、地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成していきます。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ○外国語活動、外国語教育指導員(ALT)の配置 →1年生～5年生(1時間) 外国語教育指導員(ALT) →3.4年生～1年間(3時間) 外国語教育指導員(ALT) →英語カブを各学年年間9時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 70% 以上		児童アンケートで、外国語活動を通して、「日本や外国の文化や伝統について学び、違いや考えを大切にすることができている。」と回答した児童の割合。	A
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。 ○12月に校内・人権広場を実施するとともに道徳の授業を通して、健康教育や食育を推進し、すべての子どもに豊かな学力の育成を図っている。 ○地域社会の歴史、伝統、文化などの体験学習 →3年～前授業、后、修習見学 →3.4年生～1年間(3時間) 外国語教育指導員(ALT) →3.4年生～1年間(3時間) 外国語教育指導員(ALT) →英語カブを各学年年間9時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3: 60% 以上 70% 未満			
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。 ○SDGs →食料、社会、経済、環境などの課題において、意味のある活動で取り組むことについて話し合う ○ボランティア活動 →児童が地域社会の発展に貢献することについて話し合う →6年生が卒業前に清掃活動を実施予定	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2: 50% 以上 60% 未満			
		④国際社会、地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成していきます。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 50% 未満			
た一個め人目 基と標 礎り3 とが な個性 力とを 能育力 成をし 発 揮 する	児童・生徒が豊かな人生を生きるうえで基礎となる心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 ○道徳教育指導員の活用 →1年生～5年生(1時間) 道徳教育指導員(ALT) →3.4年生～1年間(3時間) 道徳教育指導員(ALT) →英語カブを各学年年間9時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4: 80% 以上		児童アンケートで「あいさつをしよう」と回答した児童の割合。	A
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに豊かな学力の育成を図っている。 ○学習力向上プログラム →夏季休業中の3者面談において、学習指導要領の達成度の確認を行う ○学習指導要領の達成度の確認 →1年生～5年生(1時間) 道徳教育指導員(ALT) →3.4年生～1年間(3時間) 道徳教育指導員(ALT) →英語カブを各学年年間9時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3: 70% 以上 80% 未満			
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 ○体力検査結果の分析による体育授業改善、楽しい運動の機会 →1年生～5年生(1時間) 道徳教育指導員(ALT) →3.4年生～1年間(3時間) 道徳教育指導員(ALT) →英語カブを各学年年間9時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2: 60% 以上 70% 未満			
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 ○保幼小の連携 →保育園、幼稚園との交流授業 →乳幼児期の学習 ○小中学校の連携 →1年生～5年生(1時間) 道徳教育指導員(ALT) →3.4年生～1年間(3時間) 道徳教育指導員(ALT) →英語カブを各学年年間9時間実施(昼休み)	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:80%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	1: 60% 未満			

学働 校力 目・標 教4 師力 を向 上さ せま す	校内研究等の OJTの充実を促 し、教師の授業 力を向上させま す。また、質の高 い教育を実現す るため、学校の組 織的な運営力を 向上します。あわ せて、教師がやり がいをもって働く ことができる魅力 的な環境づくりを 進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な 充実の視点による授業改善を行っている。 OICITを活用した授業の充実 →OJT支援員を活用し、タブレット端末を利用した授業を実施 →専任専任において、OJT研修を実施 O担任担任等 →全学年で実施 O担任担任等 →外国語→5～6年 音楽→1～6年 図工→2～6年 →理科→4～6年 のみ実施→1～6年生 O校内研究を柱とした組織的な授業改善 →より「児童生徒の個性・学習意欲を高める授業の質を ～互いの意見をよきを認め合う話し合い活動を通して～」 【学校・家庭・児童の意見を踏まえ、学習目標を決定 ・毎月「知・徳・体」についての目標を設定 ・児童や教師の課題を共有して実行し、意見を話し合う O授業力向上に向けた研修の充実 →授業力や指導力向上を図るため、月1回OJT研修を 実施 →教員が授業力を向上させる取組として、年間5回の研究 授業を実施する いづれも授業を参観し合える教員の関係づくり	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。	4：70%以上	A			
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 →ホームページ 学校だより(学級だより) →ホームページ お知らせ 学校だより 学校公開 O職能に応じた授業分掌やOJT →担任担任等 →主任教諭や若手教諭が中心となって進捗するOJT研修	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。	3：80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		B		
		③教職員の業務適正化等に取り組む、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。 O教員支援員の配置 →学期で固定した人材を配置することで校内研修を密に →支援員と担任との関係 OICITを活用した授業の効率化 →授業計画を立てて7～8年生に、学習時間を短くし、日課 から得る学習するシステムを構築 →児童や教師の課題を共有して実行し、意見を話し合う →授業力や指導力向上を図るため、月1回OJT研修を 実施 →教員が授業力を向上させる取組として、年間5回の研究 授業を実施する いづれも授業を参観し合える教員の関係づくり	4：「おおむね高まっている」と全教員が回答した。	2：50%以上60%未満			C	
た自働 め分別 のら目 学し標 びく5 をい き援 します と生 きる	困難のある児童・ 生徒一人ひとりの 状況にあわせて 教育環境を整え ることもし、相 談機能の充実を 図ることで、すべ ての児童・生徒が 自分らしくいき きと生きるための 学びを支援しま す。	①インクルーシブ教育システムの構築に向 けて、教員の資質・能力の向上や校内にお ける支援体制の充実、特別支援教室巡回指 導教員との連携等を行っている。 O包括的支援体制の構築 →教諭・支援員第三学校 →特別支援教室→サポートルーム(拠点校) →年度当初に目標、サポートルームについての機能を理解す るにとともに、支援員と特別支援教室についての研修を 実施し、より理解を深める O特別支援教室と通常の学級との交流 →地域の児童と特別支援教室の児童、教員や一部授業、行事 等と一緒に参加する	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。	4：70%以上	A			
		②学校のいじめ防止基本方針に沿って、いじめ の未然防止、早期発見、早期対応のための 組織的な対応を実施している。 O学校生活指導委員会 →年度当初に目標、サポートルームについての機能を理解する →必要に応じて、支援員と特別支援教室についての研修を実施し、より理解を深める O特別支援教室と通常の学級との交流 →地域の児童と特別支援教室の児童、教員や一部授業、行事 等と一緒に参加する	4：「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。	3：60%以上70%未満		B		
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャル ワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者 が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの 能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図 した指導や支援を行っている。 Oスクールカウンセラーによる支援 →児童・生徒等へのカウンセリング →必要に応じて、支援員と特別支援教室についての研修を実施し、より理解を深める Oスクールカウンセラーによる支援 →児童・生徒等へのカウンセリング →必要に応じて、支援員と特別支援教室についての研修を実施し、より理解を深める	4：「おおむねできた」と全教員が回答した。	2：50%以上60%未満			C	
安楽働 め分別 な目 教訓標 育造 環的 境な を学 び育 く育								